

「あは♡ おじ様危ないですわ。こんな人気のない路地裏にいたら私みたいな怖いスライム娘に襲われてしまいますよ♡」



「こんな風にく、捕まえてく、服を溶かしてく、一方的に犯されてしまいますよ♡ ほらほらほらあ♡」

「あ♡ おちんちんぴくぴくしてきました♡ もう出そうですか？ 良いですよ♡ おじ様のおちんぽミルク、私の中に下さいませ♡」

「ほくら、ぴゅっぴゅ、ぴゅっぴゅ、ぴゅっぴゅ、ぴゅっぴゅ、ぴゅっぴゅ、ぴゅっぴゅ、ぴゅっぴゅ、ぴゅっぴゅ、ぴゅっぴゅ…、ぴゅっ♡」



「あん♡ 出たあ♡ おじ様のおちんぽミルクう…、私のお腹を突き抜けて胸のあたりまで出てますわあ♡」

「そんなに私のロリスライムぽでいがお気に召したのですか？ ほらあ♡ 全部出してくださいな♡」



「おじ様のまだ硬いままです♥ 良いですよ、気がお済になるまで存分に私の膣内を堪能して下さいな♥」

「おじ様のタマタマからおちんぽミルクが枯れるまで搾ってあげますわ♥
そしてミルクが尽きたら…ふふ♥」



「ふふ♥ とうとうおじ様のおちんぼミルクが
尽きてしまったようですね♥ でも私、まだ満足していません…」
「だからおじ様をこのままドロドロに溶かして、
おじ様自身をおちんぼミルクとしてしまいます♥」

「さあ、おじ様♥ 私のおまんこの中に…
入ってきてくださいな♥」



「あん♡ おじ様…来たあ♡ おまんこの中に…、入ってきましたのお♡
お腹の中におじ様が入ってきてるう♡」

「おちんちんカチカチで…、びくびくしてて…、
おじ様も気持ち良いんですのよね♡ 男の人は皆そうですから…」

「さあ、一番奥まで…、おじ様の事を、
おまんこで食べさせてくださいませえ♡」



「んふふ♡とおっても美味しかったですわ♡ おじ様
おじ様も私みたいなロリボディのスライムに食べられて幸せだったでしょう？」

「気持ち良〜くおちんちんから漏らしていましたものねえ？
私みたいなつるべたの女の子にコーフンするのはあ、
ロリコンという変態でしたっけ？」

「ロリまんに思いつきり漏らして食べられるの…、
ロリコンおじ様にとって本望だったでしょう？ くす♡」



「あは♡ ◎供がひとりで川遊びに来るなんてダメだろ、お仕置きとしてお姉さんのおっぱいで搾殺死刑だ♡」
「ら、らめえ♡ ♡は、放してえ♡」



「そんなこと言ってお前のちんぽはとっても嬉しそうだぞ♡ ♡うりうり♡」
「あひゃあああああ♡ ♡」

「あ、ふぁ♡ も、もう…だめ♡ な、なんか、漏れちゃうぅ〜」おっ♡ もう限界か〜？」

「いいぞ、そのままお姉さんのおっぱいの中に漏れちゃえ♡」「あひゃん♡ らめええええ♡」



「あは♡
出たあ♡」

「はう♡」

びゅっ♡

とっ♡

とっ♡



「らめええええ〜♡ 許してええええ〜♡ あううううう…♡」

たば♡

「くふふふ♡ 男の子だなく、こんなにお姉さんのおっぱいに漏らしてえ〜♡ ほれほれ〜♡」

びゅ♡

びゅ♡

びゅ♡

たば♡

たば♡

たば♡

たば♡

END

「あひい／＼／＼ な、なになにに！ き、急に地面に穴開いて落ちたと思ったら／＼！」

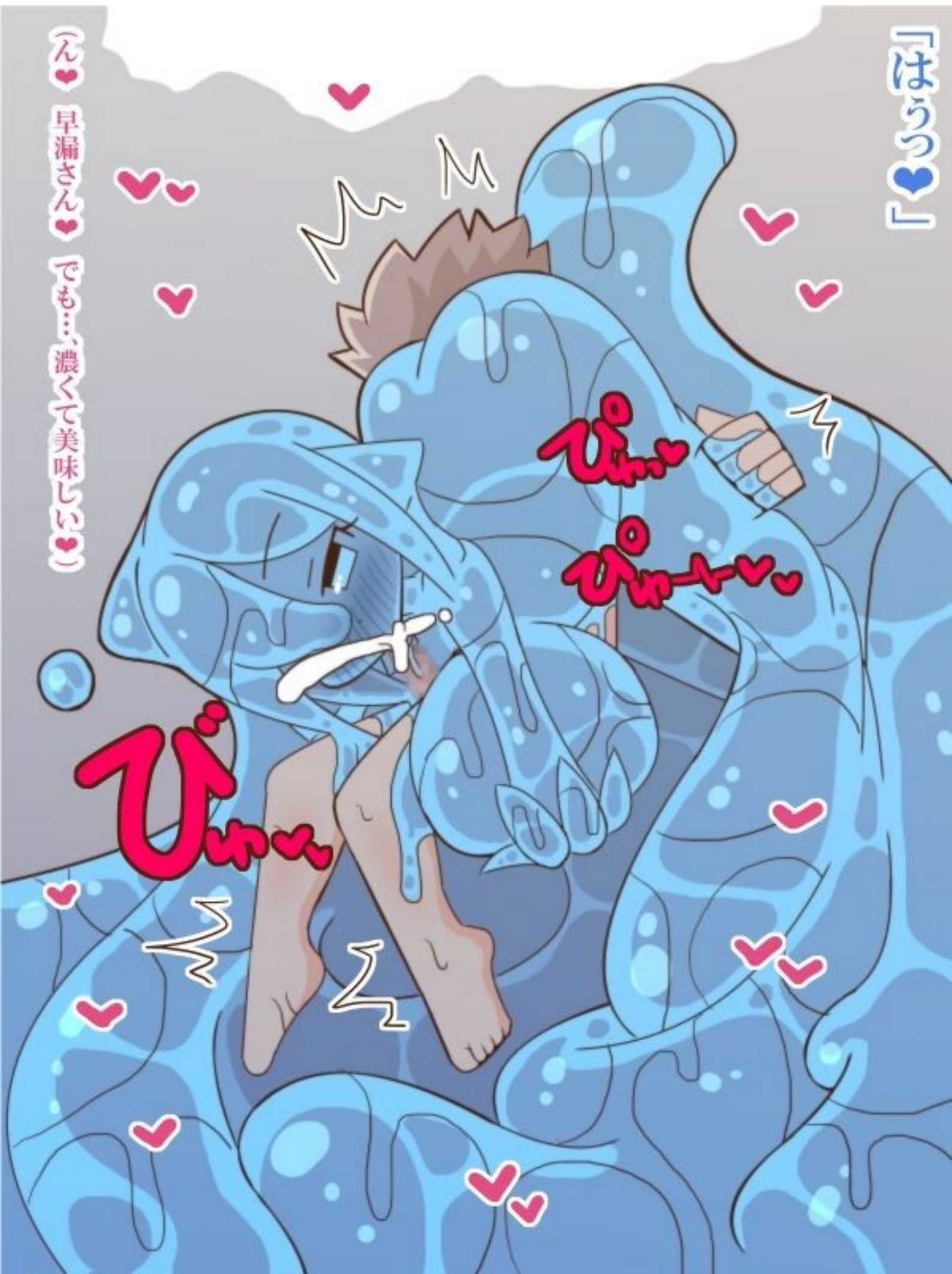
（美味しそうな坊や…、捕まえた♡

落とし穴にようこそ、坊やの精子…、頂戴♡）



「はうっ」

（ん♡ 早漏さん♡ でも…濃くて美味しい♡）



「あああ♡ らめええ♡ おちんちんぐちゅぐちゅらめええ♡」

ぢゅん♡ ぢゅん♡
ぢゅん♡ ぢゅん♡

びん びん

ぢゅん♡ ぢゅん♡ ぢゅん♡

（ほら…、もつと坊やおちんぽミルクう…、お姉さんのお口の中に…♡）

(んう♡キタあ♡)

「おおおおおおおおおおー♡」

ぢゅん♡ ぢゅん♡

ぢゅん♡

ぢゅん♡

びゅん♡♡♡

ぢゅん♡

びゅん♡♡
びゅん♡♡

ぢゅん♡

ぢゅん♡ ぢゅん♡

END

「あん♡ いや♡ そ、そんな、とこ…
舐めちや…らめえ♡ き、汚い…よお♡

ぬちゅ♡

ぬちゅ♡

くちゅ♡

ぬちゅ♡

くちゅ♡

「そんな事ないよ!! お嬢さんの綺麗なピンク色で
ふにふにしていって、とっても美味しいよ♡」



「だめえええ〜 やめてええ〜 私...私...」

「ほら♡ イケ♡ イケ♡ イケ♡ 私の舌スライムでイッてしまえ♡」



「あふああああーん♡」

びくん

びく

びく
びく~

「♡」

「さあ、お嬢さん♡、このまま私に舐められて、溶かされて死んでおくれ♡」

ぐちゃぐちゃ♡
ぐちゃぐちゃ♡
ぐちゃぐちゃ♡

(やだあゝ／＼)

ぐちゃ♡

ぐちゃ♡
ぐちゃ♡





「ん♡溶けてきた♡美味し♡」

（あ、あついよ〜〜〜だれか、助けて〜〜〜
このままじゃあ…私、私…♡）

びく

びく
びく

「ん…
逝ったな」

ぷ

し

じろお…

(な、舐め溶かされて…
イきゅうううううううう…)

END

「ああ♡
♡ らめええ♡
♡」

「あは♡
♡ せーし♡
♡ せーし♡
♡ ちようだい♡
♡ ちようだい♡」



「あ♡もうだめ♡イクううう♡」

「なかにびゅっびゅ♡びゅっびゅ♡」





「お」

「お」

ひゅん

うん

ん

ん

「なかに…、びゆるびゆるでてる♡ おいしい♡」

「お、おお♡ しほりとられるう♡」



「もっ♡ もっ♡とだして♡ ぴゅねぴゅるだして♡」

「あひいひい♡」



END

「おお、は、放せええ〜魔物なんかには、魔物なんかにはいい〜」

「ええ〜？魔物なんかには…なにかなく？おちんちん勃起させて何言っているのかなあ〜♡」



「あひん♥」

「うわ、ぎこ！ ちっとおちんちんぐちゅぐちや弄ったら漏らしたよ、このおっさん」



「あひいゝん♡」

「ほらあゝ♡ 魔物のおまんこに中出ししていいのおゝ？ 赤ちゃん出来ちゃうよゝん♡」



「おっ！」

「そんなおまんこに弱弱おじさんは、おまんこで食べちゃいます♡
死んで大反省してくださる♡」



ぽん♡

む♡
む♡

「はぁい♡
おじさん死んじやいました♡
あはははははは♡」

♡
♡
!!!
♡
!!!
♡
♡
♡



END